



大分県立盲学校

《校訓》 健康・自立・感謝

所在地 〒870-0026
 大分市金池町3丁目1番75号
 電話番号 097-532-2638
 FAX番号 097-532-2636
 URL <http://mou-s.oita-ed.jp/>
 交通機関 JR 大分駅から徒歩 10 分
 大分バス顕徳町バス停下車 1 分



校舎（正門）と創立百周年記念石碑

1. 設置学科 学級数 (高等部)

科	本 科		専 攻 科	
	普通科		保 健 理療科	理療科
	単一	重複		
学級数	1	1	2	3
対象	中卒対象		高卒以上対象	

2. 全校生徒数 (高等部)

科	本 科		専 攻 科	
	普通科		保 健 理療科	理療科
	単一	重複		
男子	0	3	0	4
女子	1	0	2	1
合計	1	3	2	5

3. 学校の特徴

●学校の歴史

明治 41 年 6 月大分県私立盲啞学校として設立認可。
 昭和 12 年 6 月ヘレンケラー女史来校。校庭で講演。
 昭和 23 年 4 月大分県立盲学校と改称（聾学校が分離）
 平成 30 年 6 月創立 110 周年記念を迎えた。

●教育目標

個々の見え方等に応じた支援のもと、心身の健康に留意し、自立に向けて進んで学ぶ意欲と他者への感謝の気持ちをもてる幼児児童生徒の育成

●入学基準

次の(1)～(3)に該当する者

(1) 視覚障がい有する者

(次のいずれかに該当する者)

- ・両眼の視力(矯正)がおおむね0.3未満の者
- ・視力以外の視機能障がい高度の者で、文字等の視覚による認識が困難な者

(2) 視覚障がいに加え、他の障がいを併せ有する者

(3) 知的障がいに加え、視覚障がいを併せ有する者

4. 学校生活

●学習活動

本校は、幼児から成人までの目が全く見えない人や見えにくい人が学習しています。教科書は視力の程度に応じ、拡大教科書や点字教科書を使用します。一人一人の視力や能力に合わせ、聴覚や触覚を有効に利用した教材を多く取り入れ、拡大読書器や点字盤、立体コピー機、3Dプリンター等本校独自の学習機器を使用して工夫した授業を行っています。

自立活動では点字学習や白杖歩行、買い物学習等の日常生活に必要な学習をします。また、居住地が遠方で通学が困難な人のために寄宿舎を設置しています。

●特別活動

幼小・中・高等部の3学部合同で4月に歓迎行事を行います、また隔年で運動会と文化祭を行い、今年度は運動会を行います。検校祭や点字競技会など盲学校独自の行事もいろいろあり、生徒会活動も盛んです。

●部活動

視覚障がい者用の特別なルールで行われるフロアバレーボール部やサウンドテーブルテニス(STT)部があり、毎年開催される九州大会に出場しています。また、陸上部は大分県障がい者スポーツ大会や視覚障がい者マラソンなどにも参加しています。

音楽部は、九州地区盲学校音楽大会など盲学校関係の音楽大会等に出場しています。

●卒業後の進路

普通科

専攻科への進学、一般企業や障がい福祉サービス事業所への就労、及び大学進学も果たしています。これまで熊本大学・西南学院大学・筑波技術大学等に進学しています。

専攻科

生徒の多くはあんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験を受験して免許を取得し、病院や施術所に勤務したり、開業したりしています。
理療科の教員免許を取得して盲学校の教員になる生徒もいます。



大分県立聾学校

校訓

努力 友愛 規律

所在地 〒870-0026 大分市金池町3丁目1-60

交通機関 JR大分駅北口 徒歩10分

電話番号 097-538-6661 FAX 097-538-6665

URL <http://shien.oita-ed.jp/rou/>

1 高等部設置学科・各学年別在籍数

高等部		1年	2年	3年
本科	普通科	1	1	0
	産業技術科	1	0	0
専攻科	産業技術科	0	0	0

2 全校幼児児童生徒数

学部	男子	女子	合計
幼稚部	3	5	8
小学部	6	3	9
中学部	0	4	4
高等部	1	2	3
合計	10	14	24

※寄宿生 男1 女5 計6名

3 学校の特徴

【学校の歴史】

本校は明治41年に私立盲啞学校として設立され、昭和23年に大分県立聾学校となるとともに高等部が発足し、昭和33年には専攻科も設置されました。令和4年度より、金池町の新校舎へと移転しました。今年で創立117周年を迎えました。

【教育目標】

聴覚に障がいのある幼児児童生徒一人一人の個性や教育的ニーズに応じて、学部間が連携し、一貫した教育を行うことにより、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むとともに、コミュニケーション力を磨きながら、自立し、社会参加していく態度・習慣を養う。

【今年度重点目標】

- (1) ことばを学び、思考を深め、主体的に表現する子どもの育成
(大分聾スタンダードを基にした授業改善)

- (2) 自らの安全を確保できる子どもの育成
(いのちを守る安全教育の充実)
- (3) ゆとりを持って笑顔で子どもと向き合うことができるための働き方改革



4 学校生活

(1) 学習活動

高等部本科は普通科（進学コースと基礎技能コース）、産業技術科（工芸情報コースと生活産業コース）の2学科4コースがあります。生徒の能力や希望に合わせた進学指導及び各専門科目の実習等を行っています。全商ビジネス文書実務検定等の各種資格取得にも力を入れています。

「ことばの花を咲かせよう」のスローガンのもと、各教科の中で「日本語力」の向上を目的とした取組を行っています。また、自立活動の時間を週1～3時間設け、手話や筆談、各種サービスの利用等、将来の自立に向けた学習内容も積極的に取り入れています。

(2) 特別活動

学校行事は、全校で行う運動会・文化祭と、学部で行う修学旅行・校外学習などが計画されています。

生徒会活動は、生徒総会や校内委員会として保体活動や文化活動を行っています。

(3) 部活動

運動部と美術部があります。運動部は陸上やバドミントン、卓球等を行います、県高校総体にも出場できます。文化部は美術部があり、大分県高等学校文化連盟総合文化祭で、優秀な成績を収めてきました。

(4) 卒業後の進路

就職先は、自動車製造業、電子部品製造業、印刷業等の一般企業等、進学先は、専門学校、国立私立大学等や他県の聾学校専攻科が挙げられます。



OITA DEAF SCHOOL
～ことばの花を咲かせよう～



大分県立別府支援学校(本校)

校訓 自愛 友愛 感謝

所在地 〒874-0840 別府市大字鶴見 4224 番地
 電話番号 0977-24-0108 FAX 番号 0977-24-0322
 U R L <http://shien.oita-ed.jp/beppu>
 交通機関 JR別府駅からバス、荘園町下車徒歩5分

1 高等部(普通科)学年別学級数

	1 学年	2 学年	3 学年
単一障がい	2 学級 肢体1 病弱1	1 学級 肢体0 病弱1	2 学級 肢体1 病弱1
重複障がい	2 学級	1 学級	1 学級
計	4 学級	2 学級	3 学級

2 高等部生徒数

	男子	女子	計
1 年	8	4	12
2 年	4	1	5
3 年	3	4	7
計	15	9	24

3 学校の特徴

(1) 本校のあゆみ

昭和33年4月、別府市内小・中学校の特殊学級として開級する。昭和37年11月、別府市立養護学校から分離し、大分県立別府養護学校として独立。昭和41年4月、現在地に肢体不自由単独養護学校として開校、高等部を設置する。昭和46年4月、石垣原分校が分離独立。昭和56年4月、鶴見分校が分離独立。

平成22年4月、石垣原養護学校及び鶴見養護学校を統合再編し、大分県立別府支援学校(本校)と校名変更。同年、病弱部門を新設し「肢病」併置校となる。

(2) 教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い心豊かに生きていく児童生徒を育成する。

(3) 学習環境

障がいの状態を考慮した施設・設備(冷暖房、洗浄便座、温泉プール、人工芝グラウンド、エレベーター、自動ドア、スロープ等)が充実しています。

学校と併設した寄宿舎(現在高等部入舎生2名)や通学生のためのスクールバスがあります。自立と社会参加をめざして、仲間とともに学ぶ環境にあります。



4 学校生活

(1) 学習活動

障がいの状態に応じてクラスをⅠ～Ⅳの課程で編成しており、学習活動は、クラス単位の学習のほかに、クラスや学年の枠をはずして習熟度別の学習集団を編成することもあります。

Ⅰ課程の学習内容は高等学校普通科に準じます。進学あるいは就職希望者にはそれぞれに応じた学習指導を行っています。

Ⅱ・Ⅲ課程では「国語」「数学」等の教科の学習と卒業後の就労をめざした「職業」の授業では、働くために必要な心構えや技術等の学習に取り組んでいます。

Ⅳ課程では「音楽」「美術」の教科の学習と「自立活動」を主とした学習活動を行っています。

どの課程にも特別支援学校の特徴である「自立活動」があり、健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーションに関する学習をしています。

また、進路指導では、働く力の育成のために「現場実習」「職場・施設見学」等にも力を入れています。

(2) 特別活動

本校には、小学部・中学部・高等部の3学部があります。その特長を生かし、3学部の児童生徒が工夫を凝らしながら各種の行事を行っています。

今年度も体育的行事(ドリームスポーツ杯)、文化的行事(別支ドリームフェスティバル)等を生徒会を中心として企画・運営をする予定です。

また、高等部の行事として修学旅行、校外学習等があります。中でも、修学旅行は、自宅や学校を離れて旅行する機会の少ない生徒にとって最も楽しみにしている行事です。

(3) 卒業後の進路

令和7年3月卒業生の進路別人数(卒業生8名)

○一般就労(企業等、就労継続支援A型) 3名
 ○就労移行・就労継続支援B型 3名
 ○生活介護 2名



大分県立別府支援学校鶴見校

校訓 自愛 友愛 感謝

所在地 〒874-0838 別府市鶴見 4075-12

電話番号 0977-21-1349

FAX 番号 0977-21-1359

U R L <http://shien.oita-ed.jp/beppushien-turumi/>

交通機関 別府駅から亀の井バス利用

17 山の手經由鉄輪線、16 外廻り循環線

別府発達医療センター前下車徒歩 5 分

3 扇山線 西別府病院下車徒歩 7 分

1 設置学科 学年別学級数

	1 学年	2 学年	3 学年
普通科	1 学級	1 学級	1 学級

2 高等部生徒数 (学年別)

	男子	女子	合計
1 年	1	0	1
2 年	1	1	2
3 年	3	0	3
合計	5	1	6

3 学校の特徴

(1) 本校の歩み

- 昭和 33 年 4 月 別府市立青山中学校並びに別府市立南立石小学校の特殊学級として「別府整肢園」に併設学級が開級される
- 昭和 36 年 5 月 別府市立養護学校の整肢園学級となる
- 昭和 37 年 11 月 別府市立養護学校から分離して大分県立別府養護学校の整肢園校舎として県立移管される
- 昭和 56 年 4 月 分校から独立して大分県立鶴見養護学校となる
- 平成 22 年 4 月 大分県立別府養護学校、大分県立石垣原養護学校と統合し大分県立別府支援学校鶴見校となる
- 平成 22 年 4 月 高等部が新設される

(2) 学校教育目標

幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた創意工夫ある教育実践をとおして、一人一人が豊かな人間性を持ち、自立と社会参加を目指し、生涯を通じて充実した生活を送るために必要な「生きる力」を育む。



(3) 生活環境

本校は肢体不自由のある生徒たちが学んでいる学校です。生徒たちは隣接する社会福祉法人別府発達医療センターに入所し、治療やリハビリテーションを受けながら元気に学校生活を送っています。

4 学校生活

(1) 学習活動

障がいの状態や能力・特性に対応するため、4つの教育課程（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）を編成しています。Ⅰ課程は、高等学校の学習指導要領に準ずる学習を行います。Ⅱ課程は、知的障がい特別支援学校の各教科の学習を中心とし、Ⅲ課程ではさらに、必要に応じて各教科等を合わせた指導を行います。Ⅳ課程では、「自立活動」を主として、安定した体調、各部位の動きや活動を支える姿勢、人に向かう関心など、各教科等を学ぶ基盤を築きます。各課程において、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して一人一人に応じた教育活動を行っています。

(2) 特別活動

本校には、幼稚部、小学部、中学部、高等部の4学部があります。毎月の全校集会ではレクリエーションなどをとおして互いに交流をはかり、仲良く学校生活を送っています。ふれあいボッチャ大会、学習発表会などの行事は全校で協力して行います。また、生徒たちが入所している別府発達医療センターと連携した行事（避難訓練など）も行っています。

(3) 卒業後の進路

年 度	進学	就職	施設	家庭	計
令和 4 年度	0	0	3	0	3
令和 5 年度	0	0	2	0	3
令和 6 年度	0	0	2	0	2



大分県立別府支援学校石垣原校

校訓 自愛 友愛 感謝

所在地 〒874-0838 別府市鶴見 4050-293
 電話番号 (0977) 24-6060
 FAX 番号 (0977) 24-6064
 U R L <http://shien.oita-ed.jp/beppushien-isigakibaru/>
 メール a33123@oen.ed.jp
 交通機関 JR 別府駅 西口から
 亀の井バス③ 扇山団地行き 約25分
 西別府病院正門前バス停 徒歩1分

治療しながら学べる学校

1 設置学科 普通科 5月1日現在

	1 学年	2 学年	3 学年
単一障がい学級			
重複障がい学級		1 学級	
訪問学級			

2 全校生徒数 (高等部)

	男子	女子	合計
1 年	0	0	0
2 年	1	1	2
3 年	0	0	0
合計	1	1	2

3 学校の特徴

(1)教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践をとおり障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するとともに、豊かな人間性を育み自立と社会参加をめざす児童生徒を育成する。

(2)学校の歴史

昭和 46 年 4 月別府養護学校より分離独立し、昭和 47 年 10 月筋ジス病棟に高等部が設置され、昭和 63 年 4 月一般慢性疾患者の高等部入学が許可される。平成 4 年 4 月高等部に慢性、筋ジストロフィー、重症心身障がいの病類別学級が許可される。平成 9 年 4 月重症心身障がい児の高等部過年度生受け入れ、平成 22 年 4 月、近隣 3 校が統合し、別府支援学校石垣原校となり、従来の慢性疾患、筋ジストロフィー及び重症心身障がいの病類による学級編成を廃止し、単一障がい学級と重複障がい学級に再編される。



(3)本校の特色

本校は国立病院機構西別府病院に隣接した病弱特別支援学校で、病気療養のため入院・治療しながら学ぶ学校です。

(4)高等部教育課程の特色や授業形態

生徒一人一人の病状や障がいの状態に応じて、高等学校に準じた I 課程から、自立活動を中心とした IV 課程までの 4 つのタイプの教育課程を編成しています。自立活動とは、生徒が自立を目指し、自らの障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培うことを目標とした時間で、生徒一人一人の発達の段階や障がいの状態に応じて「個別の指導計画」を作成し、個に応じた指導を行っています。

4. 学校生活

(1)学習活動

医療機関をはじめ関係諸機関との連携を密にし、生徒の実態に応じた学習を行っています。単一障がい学級では、病気に対する理解や健康管理、精神の安定を第一に考え学力の向上に努めます。また、重複障がい学級では、健康で安定した心と体づくりを目指し、興味や関心を広げ人や物へ働きかける力を育て、豊かな表現力を養うことに努めます。

(2)特別活動

学校行事は新入生歓迎会、運動会、平和を願う日の集会、学習発表会、作品展、社会見学、修学旅行等があります。

(3)卒業後の進路

4 年制大学、短期大学、就職、福祉的就労、自宅療養、病院継続療養等です。



大分県立さくらの杜高等支援学校

《校訓》

貢献・努力・挑戦

所在地 〒870-0823

大分市東大道二丁目5番23号

電話番号 097-543-1700 FAX 097-543-3700

URL <http://shien.oita-ed.jp/sakuranomori/>

交通機関 JR大分駅下車 上野の森口から

大分市美術館方面 徒歩10分



1 学校の歴史

令和3年7月1日に学校として設置され、令和4年4月7日に開校記念式典及び令和4年度入学式を実施し開校。

2 設置学科 学年別学級数

設置学科	学 年	学級数
産業技術科	1	4
	2	4
	3	4

3 全校生徒数

学 年	1年	2年	3年
生徒数	32	32	29
合 計	93		

4 卒業生進路状況

	一 般 企 業	就 労 継 続 支 援 A 型	就 労 移 行 支 援	就 労 継 続 支 援 B 型	自 立 ・ 生 活 訓 練	デ イ ケ ア	そ の 他	計
R6 年度	23	6	0	1	0	0	1	31

5 学校の特徴

- (1) 一般就労100%を目指す
- (2) 地域や企業等との連携による教育の推進
- (3) 実務につながる資格取得
- (4) 県内特別支援学校の就労に関するセンター的機能

6 学校教育目標

- (1) 働く力…「職業生活、社会生活に必要な力を身に付け社会に貢献する人間を育てます」
- (2) 自己実現…「自ら考え、自ら行動し、社会とのかかわりの中で自己実現に向け努力する力を育てます」
- (3) 自立…「自他を尊重し、自立に向け挑戦する人間を育てます」

7 育てる生徒像

- (1) 自己選択・自己決定ができる生徒
- (2) 社会自立・社会貢献ができる生徒
- (3) 思いやりのある行動ができる生徒
- (4) 何事にも情熱をもって取り組む生徒

8 学習内容

(1) 専門教科

設置している学科が専門学科である「産業技術科」であるため、専門教科である「家政」「流通・サービス」「福祉」の学習を行っている。この専門教科の内容から「クリーンコース」「流通・販売コース」「調理コース」の3つのコースを設定して学習に取り組んでいる。1年生の2学期までですべてのコースを体験する「トライアル学習」を行い、本人の希望や各コース(短期職場実習を含む)の評価、適性等から履修するコースを決定する。コース決定後は卒業まで同じコースで学習を行う。

(2) キャリアガイダンス

① 指導の形態

各教科等を合わせた指導。「職業」「自立活動」「特別の教科 道徳」の指導内容を合わせて指導を行う。

② 主な学習内容

- 1) 職業生活に必要なとされる知識や技能、態度を養うための内容
- 2) 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための内容
- 3) 障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための内容

(3) 産業現場等における実習

本校では、「職場実習」として取り組んでいる。実施時間や期間の異なる、「短期職場実習」「中期職場実習」「長期職場実習」「追加・定着職場実習」の4種類の実習を実施している。1年は22日間、2年は38日間、3年は35日間の職場実習を基本として行う。

(4) 学校行事

4月に遠足、7月にオープンスクール(中3対象)、10月にさくら祭(文化祭)を行う。修学旅行は、3年生の7月頃に実施する。

《中学生の皆さんへ》

本校は県内唯一の高等部のみの特別支援学校です。入学者選考を12月頃に行うことも特徴です。本校では、月に1回(8月を除く)の学校見学会を実施しています。詳しくは、右のQRコードから学校のホームページをご覧ください。

本校への進学を検討されている中学校3年生は、随時学校見学を受入れますので学校経由でお申し込みください。





大分県立宇佐支援学校

校訓

つよく あかるく たくましく

郵便番号 〒879-0314
所在地 大分県宇佐市大字猿渡 1137-19
電話番号 0978-32-1780 FAX 0978-32-0006
U R L <http://shien.oita-ed.jp/usa/>
交通機関 J R 日豊線 天津駅下車 2km
10 号線 山下入口バス停下車 徒歩 10 分



【 職業「窯業」 】



【 職業「農業」 】

1. 設置学科 学年別学級数

全 日 制	1 年	2 年	3 年
生活教養科	1 学級	1 学級	1 学級
職業生活科	2 学級	2 学級	1 学級

2. 高等部生徒数（学年別）

	男 子	女 子	合 計
1 年	6 名	6 名	1 2 名
2 年	1 1 名	6 名	1 7 名
3 年	6 名	4 名	1 0 名
合計	2 3 名	1 6 名	3 9 名

3. 学校の特徴

5つのつきたい力「身につけた力を生かす」「意欲を持って学ぶ」「目標に向かって取り組む」「自分を愛し他者を認める」「思いを伝え相手の話を聞く」を学校生活の基軸にして、日々の学習活動に取り組んでいます。

(1) 学校の歴史

昭和 46 年 4 月 1 日 大分県立糸口養護学校となり、独立開校
昭和 50 年 4 月 1 日 高等部設立
昭和 52 年 4 月 1 日 校名変更、大分県立宇佐養護学校となる
平成 5 年 2 月 23 日 20 周年記念行事
平成 14 年 11 月 2 日 30 周年記念行事
平成 15 年 3 月 18 日 グラウンド改修
平成 15 年 8 月 31 日 高等部棟大規模改修
平成 15 年 12 月 25 日 スクールバス導入
平成 21 年 4 月 1 日 宇佐養護学校中津校開校（小学部設置）
平成 22 年 4 月 1 日 校名変更により宇佐支援学校となる。
中津校中学部設置
平成 23 年 4 月 1 日 中津校高等部設置
平成 24 年 10 月 27 日 40 周年記念行事
平成 25 年 4 月 1 日 中津校独立
大分県立中津支援学校開校
平成 31 年 2 月 8 日 プール大規模改修
令和 4 年 12 月 16 日 50 周年記念行事

(2) 教育目標

持てる力を存分に発揮し、社会の中でしなやかに生き抜く児童生徒の育成

(3) 高等部教育課程の特色

- イ) 生徒の特性やニーズにあった教育課程の編成
- ロ) 生徒の自己選択・自己決定能力を養う指導
- ハ) 生徒の体力や感性を育む授業の充実
- ニ) 将来を見据えた進路学習や交流及び共同学習の充実
- ホ) 職業に関する指導（主に職業）の充実

4. 学校生活

(1) 学習活動

高等部では、卒業後、持てる力を存分に発揮し、社会の中でしなやかに生き抜き人生が楽しめるように、5つの「つきたい力」の育成を通して、自立と社会参加を目指しさまざまな学習活動を行っています。

- イ) 健康で安全な生活習慣を身につける。
- ロ) 日常生活に必要な言語力や数量を認識する力等、基礎的な知識を身につける。
- ハ) すべての教科等の学習をとおして、豊かな情操を養い、楽しく生きる力を身につける。
- ニ) 農業・窯業・手芸・喫茶メンテナンス・受注作業をとおして、働く意欲や態度を身につける。

(2) 特別活動および学校行事

現場実習（5、6、9、10、11、1、2 月）
修学旅行 2 年（10 月）
総合文化祭（学習発表会、作品展）（10 月）

(3) 卒業後の進路

高等部では卒業後の進路保障や社会参加に力を注いでいます。令和 6 年度の卒業生の進路先は以下のとおりです。

一般就労	3 名	福祉就労	5 名
生活介護	0 名	その他	0 名
		計	8 名



大分県立中津支援学校

《校訓》

あかるく なかよく 自分らしく
明朗 愛 自立

所在地 〒871-0008
中津市大字大塚1番地
電話番号 0979-22-0550
FAX 0979-22-0344
URL <http://shien.oita-ed.jp/nakatsu/>
交通機関 JR日豊線 中津駅下車1km(徒歩13分)

1 設置学科 学年別学級

学 科		1 年	2 年	3 年	計
普通科	職業生活科	1	2	1	4
	生活教養科	2	2	1	5
	訪問学級	-	1	-	1
合計		3	5	2	10

2 高等部生徒数

学 科		1 年	2 年	3 年	計
普通科	職業生活科	8	12	8	28
	生活教養科	4	6	1	11
	訪問学級	-	1	-	1
合計		12	19	9	40

3 学校の特徴

一人一人を大切に、社会自立を目指すとともに、保護者や地域に愛され、中津市における特別支援教育のセンター的役割を果たす学校づくりを進めています。

(1) 学校の歴史

平成21年1月1日 宇佐養護学校中津校準備室設置
(中津商業高等学校内)
平成21年4月1日 宇佐養護学校中津校開校
小学部を設置
平成22年4月1日 宇佐支援学校中津校に校名変更
中学部を設置
平成23年4月1日 高等部を設置
平成25年4月1日 中津支援学校として開校
令和4年11月23日 創立10周年記念式典

(2) 教育目標

児童生徒一人一人の能力や特性に応じた教育を行い、その可能性を伸ばし、自立と社会参加を目指す人間を育成する。



4 学校生活

(1) 学習活動

高等部では、社会生活に向けた習慣を確立するとともに、心身の調和的発達を図り、卒業後の社会生活、職業生活に必要な知識、技能、態度を習得することを目指しています。

職業生活科では、働くための力をより身に付けるために、2年生からコース制(チャレンジコース・ステップコース)を導入しています。下表のように年1～3回の産業現場等における実習に加え、チャレンジコースでは、各学期5回、木曜日に企業等での1日職業体験(チャレンジDAY)も行います。

1年	6月校内実習(7日間)、11月(10日間)
2年	6月・10月・1月(各10日間)
3年	5月(10日間)、9月(コースにより2～3週間)

授業は、基本、クラス・学年・コース別に分かれて行います。職業実践や総合的な探究の時間等では、学年を超えたグループ編成もあります。

また、日頃の学習と絡め、年2回程度、公共交通機関等を利用して、中津市内や近隣の市、北九州市等へ学年別に校外学習に行き、実践的な学習も行います。

(2) 主な行事(令和7年度)

4月 入学式、対面式
5月 歓迎遠足、宿泊学習(1年)
11月 スポーツフェスタ
12月 修学旅行(2年)
2月 3年生を送る会
3月 卒業式

* 東九州龍谷高等学校と学校間交流を行っています。
* 児童生徒会活動(月1回)で、執行部や4つの委員会が全校で協力し、学校生活の充実を図っています。
* 放課後、エンジョイサークル(月2回)で、希望者が運動部・文化部の活動をしています。

(3) 卒業後の進路(令和6年度卒業生)

	企業	就労支援A型	就労移行支援	就労支援B型	生活介護	その他	合計
人数	2	4	0	8	0	1	15



大分県立日出支援学校

【校訓】元氣よく みんななかよく がんばる

所在地 〒879-1504
大分県速見郡日出町大神1618-1
TEL 0977-72-2305
FAX 0977-72-4513
URL <https://shien.oita-ed.jp/hiji/>
交通機関 JR大神駅下車徒歩15分
バス停大神駅前下車徒歩15分

1 設置学科 学年別学級数

	1学年	2学年	3学年
職業生活科	2	1	2
生活教養科	1	1	1

2 高等部生徒数（各学年別）

	男子	女子	合計
1年	6	6	12
2年	5	5	10
3年	7	6	13
合計	18	17	35

3 学校の特徴

【学校の歴史】

昭和29年4月 日出町立大神小学校及び大神中学校の「みのり園」分校設置
昭和34年4月 日出町立日出養護学校として独立校となる
平成18年4月 大分県立南石垣養護学校高等部日出分教室設置
平成22年4月 大分県立日出支援学校に校名変更
平成25年4月 大分県立日出支援学校高等部設置

【学校教育目標】

主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成

【めざす児童生徒像】

- 元気に活動し、自分でできることは自分でする
- 自分の考えや気持ちを伝え、友だちと仲良くする
- 力いっぱい最後までがんばる

4 学校生活

【学習活動】

生徒一人一人の力に応じて、基礎的な学力の向上や実社会で生きる力の育成をめざした実践的な学習を行っています。



【学習形態】

教科別の指導	各教科等を合わせた指導	領域別の指導	総合的な探究の時間
国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 職業 家庭	日常生活の指導 生活単元学習	自立活動 特別活動	総合的な探究の時間

【学校行事】

5月…歓迎遠足、体育発表会
7月…宿泊学習（1年）
11月…学習発表会
12月…修学旅行（2年）

【産業現場等における実習（現場実習）】

卒業後の進路決定において、学校で身につけた力を実際の社会の中で活用する機会として、企業や事業所等で実習を行っています。

<各学年の実習時期とねらい>

1年→9月（5日間）、2月（10日間）

働くことの意義を理解させ、将来社会人になるという自覚を持たせる。【知る】

2年→6月（10日間）、2月（10日間）

一人一人の生徒に対する職種・活動種（施設等も含む）の発見に努め、卒業後の進路の方向性を探る。【チャレンジ】

3年→6月（10日間）、9月（10日間）

卒業後の進路先を想定した事業所（企業、施設等）での実習を通して、具体的な活動先・就労先を方向付ける。【決める】

5 卒業後の進路

進路先／卒業年度	R4	R5	R6
企業	3	3	0
就労継続支援 A 型	0	1	1
就労移行支援	1	1	1
就労継続支援 B 型	6	4	4
自立訓練（生活訓練）	0	1	0
生活介護	1	2	0
地域活動支援	1	1	1



大分県立南石垣支援学校

【校訓】 たくましく・なかよく・こんきよく

所在地 〒874-0910

別府市石垣西1丁目2番5号

電話番号 0977-23-3454

FAX 0977-23-0416

URL <http://shien.oita-ed.jp/minamiishigaki/>

交通機関 JR別府駅下車 バス石垣幸橋から徒歩5分

1 設置学科 学年別学級数

学科		学級数			
		1年	2年	3年	計
普通科	職業生活科	2	3	2	7
	生活教養科	2	0	2	4
	合計	4	3	4	11

2 全校生徒数(高等部)

学科		生徒数(名)			
		1年	2年	3年	計
普通科	職業生活科	10	18	12	40
	生活教養科	4	0	4	8
	合計	14	18	16	48

3 学校の特徴

○校訓 たくましく……明るく元気に力強く活動する

なかよく……みんなに優しく、仲良くする

こんきよく……何事にも、最後まで根気よくがんばる

○高等部の歴史

平成 9年4月 南石垣養護学校高等部開設

平成12年3月 高等部第1回卒業

平成22年4月 南石垣支援学校に校名変更

平成24年4月 職業生活科に職業コース設置

令和8年4月 羽室台高校跡地に移転予定

○授業形態

各教科等を 合わせた指導	領域別の指導	教科別の指導	総合的な 探究の時間
日常生活の指導 生活単元学習	特別活動 自立活動	国語、数学、音楽 美術、家庭、保健体育 職業、外国語 特別の教科道徳	いきいきタイム

○授業の特徴

・「職業」では学年ごとに農作業、手芸、紙工のグループに分かれて、作業に関する学習に取り組んでいます。また、メンテナンスや外部からの受注作業である箱折り等の規格作業、リサイクル等の軽作業、2、3年職業コースの生徒によるコース作業(メンテナンス、喫茶)といった作業種目も設定しています。その他にも、年に2回、各2週間ずつの現場実習を行っています(1年生は1週間の校内実習と現場実習を2回[計15日間]実施)。

・いきいきタイムでは環境学習、地域の高等学校との交流やALTとの交流、キャリア・スタディーとして進路に関する調べ学習や興味・関心に応じて選択する余暇活動(体験学習)に取り組んでいます。



4 学校生活

(1) 学習活動

高等部では、社会生活に必要な知識・技能・態度を身につけ、社会的自立をめざした教育を行っています。そのため、クラス別、学年別の集団のほか、特別活動等においては、必要に応じて学年を超えたグループ編成で授業を行っています。

【職業生活科と生活教養科】

本校高等部は普通科で、職業生活科と生活教養科を設置しています。職業生活科には一般就労等をめざす職業コースが設置され、週に1日は校内や校外での作業に取り組んでいます。生活教養科では、個々の実態に応じて個別学習や集団学習を組み合わせた授業を行っています。

(2) 学校行事

運動会、文化祭などの全校行事のほか、学部で行う歓迎遠足、校外学習や宿泊学習(1年)、修学旅行(2年)など学年単位で行うものもあります。

(3) 特別活動

児童生徒会活動として、委員会活動や全校集会を行っています。中学部・高等部の児童生徒会役員が中心となって運動会や文化祭の開閉会式を行ったり、通年の取り組みとしてペットボトルキャップの収集を行ったりするなど福祉活動にも取り組んでいます。

(4) その他の活動

平成21年度に県内の特別支援学校初の陸上部が創部され、中体連・高体連の大会をはじめ、大分県特別支援学校高等部スポーツ大会、大分県障がい者スポーツ大会など各種大会に出場しています。

(5) 卒業後の進路

平成9年度に高等部が開設され、卒業生は一般企業、福祉サービス事業所などで活躍しています。移転後を見据え、地域の関係者とのネットワーク作りや職場開拓を精力的に進めています。

〈過去3年間の進路状況〉

	R4	R5	R6
一般就労・就労継続支援A型	3	8	5
就労移行支援・就労継続支援B型	6	9	5
その他(自立訓練・在宅等)	4	2	3